



当初予算の基本的方向

令和4年度予算は、まちづくり基本構想に掲げる未来にあふれる「8つの幸せ」の実現に向けて、地方創生事業の推進を目的とする、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標を達成するための事業を盛り込んでいます。

『第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略』の基本目標

- 誰もが健康で生きがいを持ち、安心して暮らせる魅力的な地域を実現する
- 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 地域経済を活性化し、安心して働ける魅力的な雇用の場を創出する

基本構想に基づき、まちづくりの具体的な方向性を定めた「まちづくり基本計画」では、「教育・文化」、「産業・雇用」、「生活・環境」、「安全・安心」、「健康・福祉」、「自治・行政運営」の6つの分野ごとに取り組みの方向性を定め、施策を展開していきます。

未来にあふれる「8つの幸せ」

まちづくり基本構想では、何十年先の未来でも実現していきたいまちの姿を、未来にあふれる「8つの幸せ」として掲げています。

- 1 豊かな自然と共存できる幸せ
- 2 笑顔と優しさに包まれる幸せ
- 3 活気とにぎわいにあふれる幸せ
- 4 子どもが健やかに育つ幸せ
- 5 生涯安心して暮らせる幸せ
- 6 安全で快適に過ごせる幸せ
- 7 大好きなまちで生きられる幸せ
- 8 学び、成長できる幸せ



①名前を呼ばれ起立。少し緊張気味かな。②男女並んでの入場。③新入生を代表して今田旺輝くんが、誓いの言葉を述べます。④式を終え少しほっとして退場。



校庭の桜が100人の新入生を迎え、入学式が挙行されました。まだ体になじんでいないような制服が初々しい新入生。担任の先生の先導で入場します。十亀琢磨校長は式辞で「仲間を認め合うこと。失敗を恐れずいろいろなことに挑戦し続けること。感謝の気持ちを忘れないこと」の3つをお願いしました。

コロナ禍の影響で、今年も在校生は生徒会副会長の森本隼平くん一人の出席です。森本くんは、大竹中学校の伝統や行事などを紹介し、充実した学校生活を過ごせるように一緒に頑張っていきたいと歓迎の言葉を送りました。新入生代表の今田旺輝くんは「勉強に部活動に、一生懸命取り組みたいと思います」と誓いの言葉で応え、新たな学校生活のスタートを切りました。

新たな学校生活のスタート



在校生を代表して森本隼平くんが新入生歓迎のあいさつ。



PART 1



4月13日 ケーブルテレビのちゅピCOMで、4月から始まった『まちかどスタジオ』。放送エリア内の市町の話者を日替わりで生中継する25分の番組です。大竹市は毎週水曜日に放送。この日は、くば漁協から『おおたけ水産GOGO市』のPRを兼ねて、リポーターの石原麻有さんが、広島レモンサーモンのムニエルの調理の様子を実況。放送は、毎週水曜日15時～、再放送は当日19時30分～、22時30分～ほか。



4月1日 立戸、なかはまの両保育所を統合し、市役所に隣接して建設された『にじいろこども園』が開園。子どもたちを迎えて、入園式が行われました。岸田圭子園長は「にじいろに輝ける優しく温かいこども園をつくってまいります」とあいさつ。立戸から転園してきた年長組の保護者は「今までより人数が増えますが、子どもなりに対処して成長してくれればと思います」と新しい施設への期待を込めて話してくれました。



3月20日 三倉岳を舞台にした『三倉岳ボルダリングエリア公開記念イベント』が開催され、市内外から約50人が参加しました。今回は登山道付近に指定された岩を素手で登り、岩の難易度に応じてポイントを見つけてのが難しらしく、あと一步のところで失敗。それでも頂上までたどり着いたときにはガッツポーズが出ます。三倉岳がボルダリングの聖地になるかもしれません。

用語解説

【一般会計・特別会計】

地方公共団体の行政運営上基本的な分野を行う会計を「一般会計」といい、特定の収入で特定の事業を行う会計を「特別会計」という。

【歳入・歳出】

地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費を賄うものが収入で、その団体の会計年度における全ての収入を歳入といい、全ての支出を歳出という。

【自主財源・依存財源】

市が自主的に調達するお金かどうかによって歳入を区分したもの。市税や保育料、市営住宅使用料や施設の使用料などが自主財源となる。また、国・県支出金や地方交付税など、国や県から市に入ってくるお金は依存財源となる。市債も依存財源に含まれる。

【性質別歳出】

市の経費をその性質ごとに、義務的経費、投資的経費、そのほかの経費に分類したもの。義務的経費は支出が義務付けられている経費。投資的経費は道路や公共施設の建設などにかかる経費。

【目的別歳出】

市が行う事業を目的別に分類するもので、行政上の特色などを知ることができる。

歳出（目的別）

項 目	内 容	令和4年度 ()は3年度	前年度比 (%)
		151億7,683万円 (155億6,358万円)	▲ 2.5
議会費	議会の活動にかかる経費	1億8,455万円 (1億8,636万円)	▲ 1.0
総務費	市の全般的な管理事務経費、支所、選挙などの経費	23億9,310万円 (21億6,313万円)	10.6
民生費	生活保護や児童・高齢者などの経費	46億 678万円 (52億4,626万円)	▲ 12.2
衛生費	衛生的な生活環境を守るための経費	11億1,008万円 (10億8,918万円)	1.9
労働費	労働者の生活安定や福利増進事業などを行うための経費	1億2,008万円 (1億2,010万円)	0.0
農林水産業費	農林業や水産業の振興などの経費	2億4,571万円 (2億7,096万円)	▲ 9.3
商工費	商工業の振興や観光宣伝などの経費	2億3,417万円 (2億6,452万円)	▲ 11.5
土木費	道路、河川、港湾、市営住宅、公園などの経費	26億2,385万円 (29億4,973万円)	▲ 11.0
消防費	消防・救急業務や災害対策の経費	4億9,503万円 (5億 165万円)	▲ 1.3
教育費	小・中学校の運営や社会教育などの経費	12億6,472万円 (9億7,264万円)	30.0
災害復旧費	災害復旧工事などの経費	1,700万円 (0.5万円)	339,980.0
公債費	過去の借入金の返済金	18億6,176万円 (17億7,904万円)	4.6
予備費	緊急時のための 目的を定めていない予算	2,000万円 (2,000万円)	0.0

※令和3年度の災害復旧費は名目のみ予算計上（1万円未満のため千円単位まで表示）しています。

歳入

表2

項 目	内 容	令和4年度 ()は3年度	前年度比 (%)
		151億7,683万円 (155億6,358万円)	▲ 2.5
自主財源	市税	51億3,203万円 (50億1,030万円)	2.4
	分担金および負担金	1億3,949万円 (1億4,511万円)	▲ 3.9
	使用料および手数料	2億9,236万円 (2億8,744万円)	1.7
	財産収入など	7億 828万円 (3億8,182万円)	85.5
依存財源	繰入金	11億 548万円 (12億8,163万円)	▲ 13.7
	諸収入	6億1,906万円 (8億5,969万円)	▲ 28.0
	地方譲与税など	8億3,739万円 (8億4,761万円)	▲ 1.2
	地方交付税	18億9,622万円 (16億 170万円)	18.4
	国庫支出金	23億3,357万円 (23億6,224万円)	▲ 1.2
	県支出金	8億5,785万円 (8億8,964万円)	▲ 3.6
市債	大きな事業を行うために 国や金融機関から 借り入れるお金	12億5,510万円 (18億9,640万円)	▲ 33.8

歳出（性質別）

項 目	内 容	令和4年度 ()は3年度	前年度比 (%)
		151億7,683万円 (155億6,358万円)	▲ 2.5
義務的経費	人件費	26億6,515万円 (27億 693万円)	▲ 1.5
	扶助費	25億3,397万円 (23億7,868万円)	6.5
	公債費	18億6,176万円 (17億7,904万円)	4.6
投資的経費	普通建設事業費	22億5,660万円 (31億3,453万円)	▲ 28.0
	災害復旧事業費	1,700万円 (0.5万円)	339980.0
その他の経費	物件費	21億5,187万円 (19億6,972万円)	9.2
	維持補修費	1億4,515万円 (1億3,541万円)	7.2
	補助費等	9億8,346万円 (9億7,941万円)	0.4
	繰出金	14億8,320万円 (14億6,275万円)	1.4
	貸付金	3億4,567万円 (3億4,588万円)	▲ 0.1
	積立金	7億1,300万円 (6億5,122万円)	9.5
	予備費	2,000万円 (2,000万円)	0.0
	その他の経費		

市税増が見込まれる

市税は、家屋の新築による増や、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特例措置の終了などによる固定資産税の増などで、全体では前年度に比べ2.4%の増となる見込みです。

7つの特別会計の合計は、68億367万円で、前年度に比べ1.4%減少しています。（グラフ）

歳入は、普通建設事業費の減少に伴い、その財源となる国庫支出金や市債が減少しています。

歳入は、普通建設事業費の減少に伴い、その財源となる国庫支出金や市債が減少しています。

歳入は、普通建設事業費の減少に伴い、その財源となる国庫支出金や市債が減少しています。

歳入は、普通建設事業費の減少に伴い、その財源となる国庫支出金や市債が減少しています。

歳入は、普通建設事業費の減少に伴い、その財源となる国庫支出金や市債が減少しています。

歳入は、普通建設事業費の減少に伴い、その財源となる国庫支出金や市債が減少しています。

歳入は、普通建設事業費の減少に伴い、その財源となる国庫支出金や市債が減少しています。

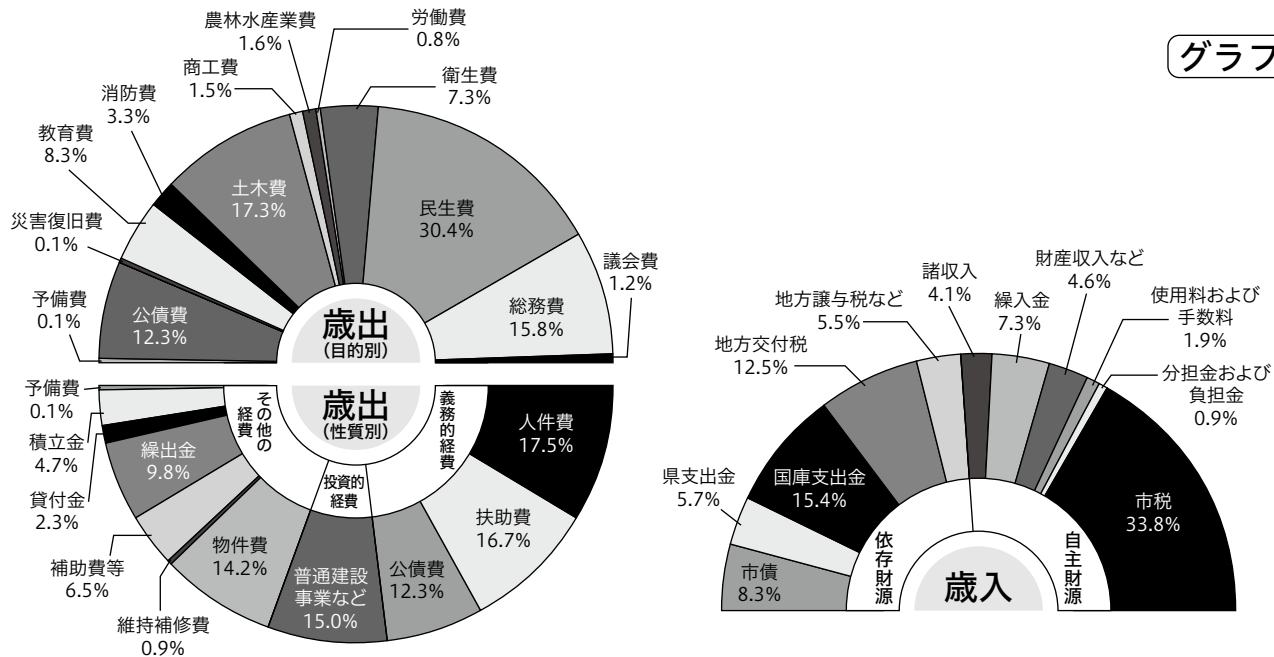
歳入は、普通建設事業費の減少に伴い、その財源となる国庫支出金や市債が減少しています。

当初予算の概要 一般・特別 会計

シ・ネンドヨサン



グラフ



企業会計

名 称	区分	令和4年度	令和3年度	対前年度比 (%)
水道事業会計	収益的	収入 5億6,885万円	5億7,835万円	▲ 1.6
		支出 5億5,703万円	5億5,357万円	0.6
	資本的	収入 2億4,117万円	2億4,750万円	▲ 2.6
		支出 7億5,032万円	7億7,974万円	▲ 3.8
工業用水道事業会計	収益的	収入 5億5,094万円	5億5,110万円	0.0
		支出 4億4,167万円	4億5,959万円	▲ 3.9
	資本的	収入 6,470万円	1億8,200万円	▲ 64.5
		支出 4億1,466万円	5億1,902万円	▲ 20.1
公共下水道事業会計	収益的	収入 10億6,357万円	10億4,307万円	2.0
		支出 9億3,772万円	9億7,274万円	▲ 3.6
	資本的	収入 12億7,573万円	11億8,203万円	7.9
		支出 14億9,109万円	10億7,332万円	38.9

令和4年度会計別予算 一般会計・特別会計

表1

名 称	令和4年度	令和3年度	対前年度比 (%)	
一般会計	151億7,683万円	155億6,358万円	▲ 2.5	
特別会計	計	68億367万円	68億9,999万円	▲ 1.4
	国民健康保険	31億3,002万円	33億1,657万円	▲ 5.6
	漁業集落排水	4,095万円	4,649万円	▲ 11.9
	農業集落排水	5,007万円	4,932万円	1.5
	港湾施設管理受託	6,097万円	6,447万円	▲ 5.4
	土地造成	2億8,787万円	2億9,094万円	▲ 1.1
	介護保険	27億864万円	26億1,988万円	3.4
	後期高齢者医療	5億2,515万円	5億1,232万円	2.5
合 計	219億8,050万円	224億6,357万円	▲ 2.2	

6 自治・行政運営

阿多田フェリー新船建造事業【拡充】 3億6,203万円

市が運航事業者に代わって新船を代替建造します。令和4年度は本格的に建造が始まります。令和5年度から就航する予定です。

予算書を販売しています 1,000円（消費財込み）

予算書（A4版362ページ）は、1,000円で、企画財政課、各支所で販売しています。（当初予算の概要は無料で配布しています）

市立図書館や情報公開コーナー（市役所2階）、市のホームページでも閲覧できます。

問い合わせ 企画財政課 ☎59-2121

4 安全・安心

一般河川（水路）^{しゅんせつ}浚渫事業 6,500万円

令和3年度に引き続き河川氾濫などによる浸水被害を防ぐため、市内の河川（水路）内に堆積している土砂を撤去します。

令和4年度は、入川排水路、中浜1号水路の浚渫工事を行います。

5 健康・福祉

市立保育所等整備事業（大竹・本町統合）【新規】 2,321万円

「大竹市公立保育所等の再編における大竹地区施設整備計画」により、本町保育所を大竹保育所に統合するため、大竹保育所の改修設計業務を行います。

不妊治療費助成事業【拡充】 212万3千円

令和4年4月から、特定不妊治療は保険適用となりますが、特定不妊治療に併せて行われる先進医療などの治療費（保険適用外）に対して、県が行う助成制度に上乗せして独自に助成します。

3 生活・環境

小方地区のまちづくり事業【新規】 800万円

「小方地区のまちづくり基本構想」の実現に向け、にぎわい交流ゾーンなどへの民間事業者などによる魅力的な施設の誘導を図るため、用途地域の見直しなどを検討します。

大竹駅周辺整備事業 7億3,781万1千円

令和4年度は引き続き自由通路や橋上駅の本体工事を行い、令和4年度中に橋上駅の開業と自由通路の供用開始を行います。

また、東口交通広場整備工事や西口駅前広場に隣接する市道の道路拡幅・無電柱化工事に着手します。

穂仁原地区水辺の広場整備事業【新規】 2,500万円

旧穂仁原小学校跡地に、水辺の広場を整備します。市民活動の広がり場として利用するとともに、伝統文化の保存・継承の場としても活用します。

晴海臨海公園整備事業【拡充】 1億1,300万円

子どもから高齢者まで幅広い世代の憩いの場となる公園整備を進めています。

令和4年度は、引き続き多目的グラウンド（西側ゾーン）の雨水処理をするための雨水排水管整備や、園路を整備します。

また、現在建設中の民間美術館や県港湾緑地に接続する園路も整備します。

1 教育・文化

大竹小学校プール建設事業【拡充】 1億1,843万円

大竹小学校と大竹中学校のプール施設を解体し、大竹小学校に児童と生徒が共同で使用できる新たなプール施設を整備します。

令和4年度は、両校の現プールの解体工事を行い、令和4年度から5年度にかけて、新たなプール施設の建設工事を行います。

2 産業・雇用

地域経済活性化補助事業【新規】 850万円

市内中小事業者が、地域特性などを生かした商品の開発・改良や販路拡大などに取り組む事業、または本市で新たに創業する方に補助金を交付し、本市の魅力の発信と地域経済の活性化を図ります。

シン・ネンドヨサン 主要事業

令和4年度の新規・拡充や主な事業を紹介